



代表取締役社長 香山 健二 × 代表取締役社長 澤井 大輔

2005年（平成17年）、株式会社小澤製作所の代表取締役社長に就任した香山健二さん、澤井大輔さん。2人の社長として支え合いながら、会社の先頭に立ち、前進を続けてきました。その道のりは、一体どのようなものだったのでしょうか。これまでの歩みについて聞きました。

まずは、お2人の
入社年を教えてください。

香山 2000年（平成12年）8月です。

澤井 2003年（平成15年）4月です。

はじめて顔を
合わせたのは、
いつの出来事ですか。

澤井 大学院生時代、就職活動をしていたときの話です。技術派遣の会社から内定をもらっていたのですが、出張で各地を飛び回る働き方に少し抵抗を感じていました。そこで「他の会社も見てみよう」と考え、就職フェアのようなイベントに参加。多くの企業のブースに足を運んで話を聞き、その1つが小澤製作所でした。後日、筆記試験と面接を受け、創業者のエネルギーギッシュな人柄にとても心を引き入れたのを覚えています。

面接の後、なぜか香山さんにカニをこちそうになったのが最初の出会い。「おもしろい会社だな」と興味を持った折に「設計部でアルバイトをしてみないか」と持ちかけられ、1年間アルバイトとして働きました。當時は、まさか香山さんと2人で

社長になるなんて、想像もしていませんでしたよ。

香山 一緒にカニを食べたこと、覚えています。パブル終盤を経験していたため、そういった機会があることは不思議ではありませんでした。おいしいものを食べながらだと、会話も弾むでしょう。

入社後、社長就任に
至るまでのような
経緯があったのですか。
当時の気持ちも合わせて
お聞かせください。

香山 小澤製作所で、大規模な人員削減が行われた時期がありました。2003年（平成15年）4月1日時点で会社に残ったのは、入社したばかりの澤井君とその少し前に入社したもう1人の社員のたった3人でし

た。そして同年8月にはもう1人の社員も退職し、社員は2人だけになりました。

澤井 設計部で1年間アルバイトをしており「正社員になつたら、もっといろいろな仕事を教えてもらおう」と意気込んでいました。しかし4月1日に出勤してみると、先輩社員が1人もいなかったのです。香山さんと新入社員のもう1人以外は全員退職したと聞き、かなりの衝撃を受けましたが、若かったこともあり、そこまで深く考えなかったのも事実。「勉強すればなんとかなるだろう」と、楽天的にとらえていました。

香山 先代と2代目の社長がまだ株式会社小澤製作所にいるときのことで、ちょうど関連会社設立のタイミングでもあり下請けとして、2004年（平成16

年）に有限会社小澤製作所を設立。最初に2人での社長を経験したのはそのときです。しかしその後、ついていくはずであった株式会社小澤製作所の2代目社長は暖簾分けで独立し、駐車場事業を手がけることに。2005年（平成17年）、私と澤井君の2人は有限会社小澤製作所を清算し、社長を失った株式会社小澤製作所の社長に就任したのです。仕事は安定的に受注できており、澤井君は入社したばかりとはいえ社会人経験もあつたため、正直なところ、不安はそれほどありませんでした。ただ、私1人だけではとても務まらなかつたと思います。2人だったから、今日まで歩んでくることができました。

これまでを振り返り、
香山さんの思いを
お聞かせください。

香山 設計については、全面的に澤井君に一任していました。知識も技術も独学で身につけ、試行錯誤しながら挑戦を続けるその姿はとても頼もしく「自分もがんばらなくては!」と、背筋の伸びる思いがしました。澤井君がいたからこそ、今日の小澤製作所があります。そして、今後も澤井君が会社を牽引していくと確信しています。

1年間のアルバイト経験があるとはいえ、先輩社員が誰もいない中、たった1人で設計を担うことになった澤井さん。そこにはどのような苦労があったのでしょうか。

（後編に続く）

創刊のお知らせ

この度、株式会社小澤製作所ではOZAWA TIMESを発行することになりました！
個人にスポットを当てたインタビューや、施工事例、おすすめ設備の紹介などを掲載いたします。
より「小澤製作所」のことを知っていただくための、新たなツールの誕生です！

OZAWA TIMES をこのように活用していきたいと思えます！

★現場の情報を詳細に伝える情報共有の場として

★社員一人ひとりのことを知っていただくためのツールとして

毎月発行します！

毎月25日に発行します。
毎号新鮮な内容をお届けいたしますので、ぜひ御覧ください！

インタビュー

毎号、活躍する社員の方のインタビューを掲載いたします。創刊号では、香山社長と澤井社長のお二人にお話をお伺いしました。

コンテンツ

小澤製作所の施工事例紹介や、いずみパーキングの施工事例紹介、BRICKYARDの設備紹介など、幅広く情報をお届けします。



担当者コメント

たけとみ あけみ
竹富 朱美さん

このOZAWA TIMESを通して、施工現場の状況や概要をお伝えしたり、社員の皆さんの姿を紹介していきます。詳しくお伝えしていければと思いますので、ぜひ御覧ください。

次号予告

vol.2 2021年4月25日発行

次号
お楽しみに！

◆インタビュー 香山社長 澤井社長
対談インタビュー(後編)

◆コンテンツ 施工事例紹介

最も印象に残る施工について、詳しくお伺いしました。施工概要はもちろん、こだわりポイントや難しかった部分など、様々な面からご紹介いたします。担当者の素顔にもご注目ください！

「駐車場の仕事は楽だと思われがちですが、
実は大変です」

いずみパーキング 新栄営業所 現場統括マネージャー にしやま ゆうま
西山 雄真さん

ホテルニッコースタイル 案件の概要

14台止められる駐車場で、国際センター駅または伏見駅から徒歩7分ほどの場所にあります。ターゲットはホテルの宿泊ご利用客、レストラン、カフェのお客様です。また新型コロナウイルスの影響で、在宅ワーク用として日中だけ部屋を貸す「デイクース」を利用のお客様も視野に入れています。

おすすめポイント

ニッコースタイルというホテルは四つ星ホテルですが、楽天が経営に関わっていることもあり、カジュアル路線をとっています。今回はニッコースタイル風に仕上げるために、スタッフのユニフォームをラフなものにし、ロゴも緑と白を基調としたものに変更し、デザインに統一感を持たせました。

やりがい

口コミに「駐車場スタッフが丁寧で良かった」と書かれていると嬉しく思います。駐車場の仕事は楽だと思われがちですが、実は大変です。全く仕事ができなかった社員が成長した姿や、一般のお客様を呼び込む姿を見ると嬉しくなります。

Profile

出身は愛知県海部郡大治町です。
趣味はファッション、ゴルフ、小学校~大学までしていた野球です。



難しかったこと

オーナーとの商談が一番苦労した点です。駐車場が14台という少ない台数のため、売上がでなければ運営管理ができず、どのような条件で物件を確保するのか悩みました。営業部長と私で何度も内容を改善し、高い収益を得る施策を考えながらホテル側と交渉しました。



得意分野

交渉力です。「業者」ではなく、「取引先」と呼んでいただける存在でありたいと思っています。意味は同じでも、より対等な存在だと思っただけのように、お客様との関係づくりは大事にするようにしています。

メッセージ

お客様のことを思うからこそ、はっきりと自分の意見を述べられる人でありたいと思っています。今後とも、よろしく願っています。



BRICKYARD Recommended

新たな風が吹くこの季節。今月のBRICKYARDの魅力をお届けいたします。

Monthly SELECTION

今月のおすすめは、新調したばかりの大きめのドライフラワーです。
アンティークの家具は主に東京、大阪、名古屋を中心にアンティークショップに足を運んで購入しています。今まで手に持てるサイズは多く取り揃えていましたが、大きめのは初めてです。縦50cmほどで、背景としての使用がおすすめです。

Customer's Voice

なかなか直接お客様とお会いして、お話しする機会がありません。しかし先日、メールでやり取りする中で「備品などが良く、また利用したい」との声をいただきました。常に皆様にご満足いただける空間となっておりますので、ご利用をお待ちしております。



新年度を迎え、進学など新たなステージに向けてスタートする時期はもうすぐそこ。その前に、卒業に向けた撮影のために利用して下さる学生さんもみられます。最近では、写真だけでなくYouTubeなどのための動画撮影も増えてきています。ぜひ、ここBRICKYARDにて思い出の形に残してみたいかがでしょうか。

